

枝川スタッフが選んだおすすめ本

枝川の本棚

★7月のピックアップ★

『リデルハウスの子どもたち』

佐原ひかり/著 東京創元社

ISBN: 978-4-488-02938-8



一般書

『ポアロの部屋はなぜモダン？』

菅靖子/著 彩流社

ISBN: 978-4-7791-3111-0

著者はイギリス文化史、デザイン史の専門家。本書ではアガサ・クリステイ本人が撮影した写真とともに、当時流行したデザインやアート、建築を紹介しつつ、クリステイの人生と作品を読み解いていきます。

クリステイは流行に敏感で、作中に最先端の技術やデザインが登場しますし、自著の表紙にも強い思い入れがありました。本書口絵の貴重な初版本のカラー表紙も楽しいですよ。

『古代文字を解読していたら、研究に取り憑かれた話』

大城道則/著 他 ポプラ社

ISBN: 978-4-591-18745-6

本書は古代文字に魅せられた三人の研究者による、それぞれの研究の日々を綴ったエッセイ集です。知的好奇心の赴くままに研究に取り憑かれると同時に「役に立たないもの」に厳しい現代で「好きなこと」を仕事にすることの難しさや、ロマン溢れる古代文字の魅力がたっぷり語られています。

学生から大人まで、幅広い年代におすすめの一冊です。

憧れの名門校リデルハウスに編入したアモニカ。学園での全ての費用が支援される代わりに彼女に課された条件は、“ラブ”と呼ばれる特別な生徒に関して得た情報を手紙で報告することでした。

オムニバス形式で展開される生徒たちの物語、過去と現在が重なった時、明らかになるリデルハウスの秘密とは…。

鎖された環境ならではの濃密な空気感、最後まで先の読めない展開に惹き込まれます。



児童書



『うみとねこ』

マーガレット・ワイズ・ブラウン/さく

アン・モーティマー/え きさかりょう 木坂 涼/やく こうがくしゃ 好学社

ISBN: 978-4-7690-2352-4

海^{うみ}ってどんなところかな？はじめて海^{うみ}へやってきたねこのスニーカーは、カニ^{かに}や貝^{かい}がら、ふしぎな生きものたち^{いきものたち}に出会^{であ}います。波^{なみ}の音^ねをきいたり、におい^{におい}をかいたり、見るもの^{みるもの}すべてがおもしろいものばかり。

海^{うみ}を体^{からだ}いっぱい^{からだ}で感じ^{かん}ているスニーカーの様子^{ようす}にわくわくし、ふわふわしている毛^けなみ^{なみ}は思^{おも}わずさわってみ^{さわ}たくなります。

スニーカーといっしょに海^{うみ}での発見^{はっけん}を楽し^{たの}しめる絵本^{えほん}です。

0～5歳^{さい}向け



『万丸^{まんまる}食堂^{しょくどう}、奇跡^{きせき}のソフトクリーム』

山本悦子^{やまもと えつこ}/著 りろんしゃ 理論社

ISBN: 978-4-652-20738-3

この物語^{ものがたり}の舞台^{ぶたい}は、岩手県^{いわてけん}にある実在^{じつざい}の大食堂^{だいしょくどう}がモデル。名物^{めいぶつ}の10段^{だん}がさねのソフトクリームも、本当^{ほんとう}にあるそうです。万丸食堂^{まんまるしょくどう}を訪^{おとず}れる人^{ひと}たちは、思^{おも}いがけない出来事^{できごと}や大切な出会^{であ}いを経験^{けいけん}していきます。それぞれの物語^{ものがたり}をたどるうちに見えてくるのは、長い時間^{なが}人々^{じかん}を見守^{みまも}り続^{つづ}けてきた食堂^{しょくどう}のひみつ。心^{こころ}がじんわりあたたかくなるファンタジーです。

小学5～6年生^{しょうがくねんせい}向け



YA(ヤングアダルト)

『古都琴子は好きに生きるので、あしからず』

汐見夏衛/著 スターツ出版

ISBN: 978-4-8137-9521-6



嵐のように現れた転校生・古都琴子。「人間を引退した」と宣言する彼女は、他人の気持ちなどお構いなし。美少女な見た目とは裏腹に相当変な奴でした。そんな琴子が突然文芸部の部長になると言い出して…。

クラスメイトも先生も琴子に振り回されてばかり。でも、そのおかげでそれぞれの人生が少しだけ動き出します。夏休みに刺激が欲しい方は、ぜひ嵐に巻き込まれてみてください。

中学～高校生、一般向け



枝川図書サービスコーナー

江東区枝川 3-6-16 (枝川区民館 1 階) 【TEL・FAX】 03-3647-6860

【開館時間】 9 時～17 時 【休館日】 月曜日・第 3 金曜日・祝日

2026 年 6 月発行